

大阪の地盤構成と災害

大阪平野とその周辺の低地部には未固結の土砂からなる厚い地層が分布します。この地層は第四紀（260万年前から現在まで）に堆積した地層（第四紀層）で、都市大阪の地盤を構成します。第四紀層の形成過程を調べると自然環境の変遷が捉えられます。第四紀層は都市地盤として地震災害やかつての地盤沈下の素因でもありました。本講座では、その概要を紹介します。

講師：三田村 宗樹
大阪公立大学 名誉教授



詳細は裏面をご覧ください ▶▶

2024年 **10/1 火** ~ **11/5 火** 13:30-15:00 毎週火曜日/全6回

- 会場：大阪公立大学 I-site なんば 2階（大阪市浪速区敷津東2-1-41 南海なんば第1ビル）
- 定員：60名（申込者多数の場合は抽選） ■ 対象者：どなたでも ■ 受講料：5,000円（全6回分）
- 申込方法：下の(1)(2)いずれかの方法でお申し込みください。

- (1) 申込フォーム：本学Webサイトまたは右記二次元コード「申込フォーム」からお申し込みください。
 - (2) 往復はがき：往信用はがきに ①氏名（フリガナ）、②年齢、③郵便番号・住所、④電話番号、⑤このチラシの入手先 をご記入の上、下記宛先へお送りください。
※返信用はがきは両面とも白紙でお送りください。
- (宛先) 〒556-0012 大阪市浪速区敷津東2-1-41 南海なんば第1ビル
大阪公立大学 社会連携課「大阪の地盤構成と災害」係
※受講の可否は 9/19(木)までに通知します。届かない場合は必ずお問い合わせください。

■ 問合せ先：大阪公立大学 社会連携課 Tel 06-7656-5112 Fax 06-7656-5203



申込フォーム▼



申込締切
9/10(火)
必着

講義内容

講師:三田村 宗樹
大阪公立大学 名誉教授



第1回 10/1(火) 大阪周辺の地盤構成

大阪周辺は平野・台地・丘陵地・山地が広がり、その西には大阪湾が広がっています。平野から山地にかけてそれぞれの地形に対応するように形成時代の異なる地層や岩石が分布しています。この回では、地形とそれを構成する地層・岩石の概要を紹介します。



第3回 10/15(火) 大阪平野地下の第四紀層

平野地下には、縄文時代以降に形成された沖積層(難波累層)と呼ばれる地層が分布し、その下位には厚い第四紀層が存在します。この回では、その状況や古地理の変遷をたどります。

第5回 10/29(火) 1995年兵庫県南部地震の被害と地盤

1995年兵庫県南部地震は、阪神間に大きな地震被害をもたらしました。その被害状況と都市を構成する地盤との関係について紹介します。



第2回 10/8(火) 丘陵に露出する第四紀層

大阪周辺の丘陵には、低地を構成する第四紀層が露出しており、その地質調査から第四紀の気候変動に応じた形成過程がまとめられてきました。この回では、その概要を紹介します。



第4回 10/22(火) 大阪平野周辺の活断層と地震

厚い第四紀層が大阪の低地域に分布することは、山地と低地の境に存在する活断層の活動が大きいかかわっています。ここでは、活断層の活動や地震との関係について紹介します。



第6回 11/5(火) 地盤沈下と第四紀層

大阪平野の地下には、地層中に豊富な地下水があり、かつては工業用水や建物空調用の冷却水として利用されていましたが、過剰な揚水が原因で地盤沈下が生じ、それによって台風時の高潮浸水被害が拡大しました。ここでは、その概要について紹介します。

※感染症の流行や自然災害等の影響により、日程・開催方法・講座内容が変更となる場合があります。



アクセスマップ

会場

大阪公立大学 I-siteなんば 2階
大阪市浪速区敷津東2-1-41 南海なんば第1ビル

- 南海「なんば駅」下車、なんばパークス方面出口より約800m
- Osaka Metro御堂筋線「なんば駅」下車、⑤出口より約1000m
- Osaka Metro堺筋線「恵美須町駅」①B出口より約450m
- Osaka Metro御堂筋線/四つ橋線「大国町駅」①出口より約450m